2027 年全日本卓球選手権大会（一般の部）と WTT チャンピオンズの日程重複について

2026 年 10 月 27 日
公益財団法人日本卓球協会

国際卓球連盟（以下「ITTF」）および WTT が公表した 2027 年大会日程により、2027 年 1 月にアジアで開催される WTT チャンピオンズと 2027 年全日本卓球選手権大会（一般の部）（以下「2027 全日本卓球」）の日程が重複することが判明しました。

このため、WTT チャンピオンズへの出場を予定する選手は、2027 全日本卓球に出場できない可能性があります。

【以下、詳細】

ITTF および WTT は、2026 年 9 月 1 日に 2027 年の WTT 大会日程をウェブサイトで公表しました。これにより、例年 1 月上旬に開催されていた WTT チャンピオンズが、2027 年 1 月 19 日から 24 日まで、2027 全日本卓球と同時期に開催されることが判明しました。

日本卓球協会は、選手に重大な影響を及ぼす今回の日程重複を受け入れがたいものと考え、直ちに ITTF および WTT に日程変更を強く申し入れました。また、開催予定地の協会にも変更を打診しました。しかし、調整は整わず、現時点では日程の重複を回避できない状況です。日本卓球協会は 2027 全日本卓球の日程変更も検討しましたが、開催まで約 4 か月となった段階での変更は、会場、運営および関係者への影響を踏まえると困難であると判断しました。

ロサンゼルス 2028 オリンピックのシングルスおよび団体の日本代表候補選手 2 名は、日本卓球協会の選考基準により 2028 年 1 月に最初に発表される ITTF シングルス世界ランキングの日本人上位 2 名により選出されます。また、今回の WTT チャンピオンズで獲得できるランキングポイントは、混合団体のシード順にも関わるため、日本にとって極めて重要です。選手が全日本卓球選手権大会と WTT チャンピオンズのいずれかを選択せざるを得ない事態は、選手の競技機会を大きく損なうものです。

日本卓球協会は、選手の競技機会を守ることを最優先に、関係者への影響を可能な限り抑えるための対応を進めます。また、2028 年以降、同様の事態を二度と生じさせないよう、ITTF および WTT に対し、国際大会の日程を各国・地域の主要な国内大会と事前に十分調整する仕組みの確立を強く求めてまいります。

以上